

『前橋市 立地適正化計画』に係る市民説明会実施結果

1. 開催日時	平成29年 7月12日 (水)	元総社市民サービスセンター
	平成29年 7月14日 (金)	南橋市民サービスセンター
	平成29年 7月16日 (日)	中央公民館 (前橋プラザ元気21)
	平成29年 7月18日 (火)	上川淵市民サービスセンター
	平成29年 7月20日 (木)	大胡公民館 (農村環境改善センター)

2. 出席者数 37名

内訳	元総社市民サービスセンター	3名
	南橋市民サービスセンター	12名
	中央公民館 (前橋プラザ元気21)	7名
	上川淵公民館	5名
	大胡公民館 (農村環境改善センター)	10名
	計	37名

3. 質疑応答の状況

(1) 頂いたご意見 11名 14件

内訳	元総社市民サービスセンター	1名	1件
	南橋市民サービスセンター	1名	1件
	中央公民館 (前橋プラザ元気21)	3名	4件
	上川淵公民館	3名	3件
	大胡公民館 (農村環境改善センター)	3名	5件

(2) 頂いたご意見の内容とそれに対する市の考え方

※資料1のとおり

『前橋市 立地適正化計画』市民説明会での質問・意見 (資料1)

開催日	会場	質問・意見の内容 (要旨)	前橋市の考え方
7/12 (水)	元総社市民 サービスセンター	1. 都市機能誘導区域について、7つの拠点を定めるという説明があったが、大体の区域は駅周辺を中心に区域設定しているというのは理解できるのだが、駒形周辺地区については、他の地区と少々考え方が違うように思えた。どういった観点から駒形周辺地区を拠点として位置づけたのか。	1. 駒形駅自体は市街化調整区域である。市街化調整区域は都市機能誘導区域、居住誘導区域の設定はできないこととなっている。ただし、駒形周辺地区については、人口が集中し、さらに、都市機能についても集積しているエリアであるため、アクセス性なども加味した上で駒形周辺地区を都市機能誘導区域として設定した。

7/14（金）	南橋市民 サービスセンター	2. 計画評価について説明があったが、どういった数値目標などを立てて計画評価とするのか。	2. 計画策定にあたって、数値目標を立てなければならないこととなっている。今回、ご説明をした都市機能誘導区域については、全市域における都市機能誘導区域内に占める都市機能誘導施設の割合を指標としている。
---------	------------------	--	--

7/16 (日)	中央公民館	3. この市民説明会は、どういった周知方法で市民に知らせたのか。	3. 広報まえばし7月1日号、前橋市ホームページ、前橋市フェイスブックで市民に対して説明会周知内容を掲載した。また、自治会関係行政事務連絡会議で全自治会長に周知した。
〃	〃	4. 都市機能施設を集約し、誘導していくとのことだが、どういった方法で行くのか。	4. 立地適正化計画の誘導施設に位置づけられた都市機能を誘導区域内に整備する民間事業者などに対して補助制度や特例措置などをしていくとされており、そういった制度を使いながら、都市機能を徐々に集約していきたいと考える。しかし、法律（都市再生特別措置法）が改正されたばかりで、全国でも計画自体がスタートしたばかりであるため、結果の出ている都市はまだ無い。今後、法の改正などにより、補助制度や特例措置が続いていくとは限らないと思われるため、おおむね5年を評価周期とし、計画の見直しの必要性を検討していく。
〃	〃	5. この計画はかなりの時間を要する計画であり、コンパクトシティを目指す本計画は、将来を見据えるにあたり重要なものだと理解する。しかし、地域では早急に対応していただきたい身近な問題も多くあるため、そういったところにつ	5. 個別の案件については、都市計画部を含め、各所属部署と問題を共有し、地域と連携を図りながら少しずつ解決していきたい。

<p>”</p>	<p>”</p>	<p>いても行政に目を向けていただき、早急に対応して欲しい。</p> <p>6. 前橋北部に住んでいる者だが、私たちの住む郊外部も人口減少や少子高齢化が進んでおり、空き家も目立つ。今回の立地適正化計画の居住誘導区域の設定方法などについてお話をお聞きしたい。</p>	<p>6. 居住誘導区域については、平成30年度中の策定に向けて作業を進めているところであり、具体的なエリアについては検討中である。前橋は「前橋都市計画区域」「前橋勢多都市計画区域」「富士見都市計画区域」の3つの都市計画区域に分かれており、前橋都市計画区域については市街化区域と市街化調整区域に線が引かれているが、その他の都市計画区域については線引きがされていない。線引きのされている都市計画区域については、居住誘導区域を市街化区域内で設定することとなっており、市街化区域の中でいかに居住誘導区域を設定するかが大きなポイントになってくると思う。居住誘導区域から外れたからといって、そこは居住するところではない、ということではなく、市街化区域については、既に都市機能や居住も集約されているので、そういった環境を今後も維持していきたいということと、区域外の人口についても徐々に集約していきたいという計画である。</p>
----------	----------	--	---

7/18 (火)	上川淵市民サービスセンター	7. 都市機能誘導区域を設定した後に、居住誘導区域を設定することとなると思うが、7つの拠点ごとにその周辺を囲うように居住誘導区域を設定するという捉え方でよいのか。	7. 居住誘導区域については、都市機能誘導区域の周辺を含めて設定することとなるが、平成30年度中の区域設定に向けて、現在、作業を始めたところであるため、具体的な検討についてはこれからである。
〃	〃	8. 説明を聞いている中で、人口減少・高齢化社会という言葉がひとつのキーワードになっている。具体的に人口を増やす、人口密度を上げていくことに打開策は検討しているのか。また、高崎駅と前橋駅の人の多さの違い、にぎわいの違いについてどう思われているか。	8. どうやって人口を増やすかということだが、これから市全域の人口が減少して行くというのは推計値としてデータ上出てしまっていることである。本計画は、人口密度を緩やかに上げたり維持していくエリアを設定し、居住や都市機能をある程度集約して、生活利便性を高めていきたいと思います。また、前橋駅を含む中心市街地では、民間再開発により駅前や五差路、その他のエリアについても具体的な検討をおこなっているところであり、こういった再開発事業や本計画を並行して進めていき、まちの活性化にも繋げていきたいと考えています。
〃	〃	9. 都市機能を誘導していくにあたってのインセンティブなどについて具体的に教えていただきたい。	9. 立地適正化計画の誘導施設に位置づけられた都市機能を誘導区域内に整備する民間事業者などに対して特例措置や税制措置などをしていくとされており、そういった制度を使いながら、都市

			<p>機能を徐々に集約していきたいと考える。今後、法の改正などにより、特例措置や税制措置などによる補助制度が続いていくとは限らないと思われるため、おおむね5年を評価周期とし、計画の見直しの必要性を検討していく。</p>
--	--	--	---

7/20 (木)	大胡公民館	1 0. 大胡地区の都市機能誘導区域とは宮城、粕川も含めた区域なのか。	1 0. 大胡地区の都市機能誘導区域として設定した区域については、大胡駅を中心とした、ある程度、都市機能が集積し、利便性を考慮した上で区域を設定した。
"	"	1 1. 都市機能施設の誘導について、強制的ではなく緩やかな誘導という言葉があったが、現在、区域の外にある施設については何か影響があるのか。	1 1. コンパクトシティは、「一極集中」や「全ての人口、都市機能の集約」、「強制的な集約」といったものではない。今後の人口減少・高齢化を踏まえ、都市機能施設を効率的に利用できる区域を定めることによって、それぞれの地域における生活利便性の向上を図って、区域外からも利用しやすくなるように、公共交通を充実させていくまちづくりを目指すものとなる。
"	"	1 2. 説明会の出席者が少ないように思える。貴重はお話をもっと多くの人たちに聞いてもらったほうがいいと思うが。	1 2. 説明会の周知方法については、広報まえばし、前橋市ホームページ、前橋市フェイスブックで周知をさせていただいた。それから、全自治会長がお集まりになる会議で説明会の開催に関する文書をお配りし、ご説明をさせていただいた。
"	"	1 3. 都市機能誘導区域の設定と居住誘導区域の設定はセットでおこなうように思えるのだが、今回、前橋市は都市機能誘導区域だけを設定す	1 3. 計画策定の仕方としては太田市と同じである。都市機能誘導区域を策定した後に居住誘導区域の策定に取り組んでおり、前橋市も同じ様に段

<p>”</p>	<p>”</p>	<p>るのか。先に公表している太田市とは計画の手 かけ方が違うのか。</p> <p>1 4. この計画において、全ての都市機能をこれ らの区域の中に集約していきたいということな のか。また、区域から外れた場所は資産価値が 下がるのではないか。</p>	<p>階的に居住誘導区域の策定に取り組んでいる。</p> <p>1 4. 全ての都市機能を集約していくわけではな い。人口減少や少子高齢化が進んでいくと人口密 度の薄い場所については、地域としても成り立た なくなってしまう恐れがあるため、地域の中に利 便性の高い区域を定めていきたいと思いますという趣 旨である。また、区域を定めることによって、不 動産価値が上がったり下がったりするのではな いかというご質問に対して、まったく影響が無い とは言いきれないが、地域が連携した公共交通が 充実したコンパクトなまちの形成により、前橋市 全体の居住価値というものについては高まるの ではないかと考える。</p>
----------	----------	---	--

